

入試ガイド2015

- 選抜要項 -

未来の自分を発見。

FIND it!

専攻・ゼミでとことん研究したい

社会に貢献したい

一生の恩師に出逢いたい

熱意を伝えたい

新しい趣味・サークルを見つけたい

自分に合った就職・進路を考えたい

国際交流に取り組みたい

仲間・友人をたくさんつくりたい

コミュニケーション能力を磨きたい

将来につながる自信を持ちたい

海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

下関市立大学入試のポイント

① 公立大学中期日程を実施

経済学部では、西日本で唯一、公立大学中期日程を実施しています。

公立大学中期日程は一部の公立大学のみ認められた日程です。前期日程の試験日は2月25日以降、後期日程は3月12日以降ですが、公立大学中期日程は3月8日以降となり、国公立大学を目指す人は、前期・後期の他に公立大学中期日程にも出願できますので、最大3つの大学・学部に出願できることとなります。

② 地方試験会場を多数設置

試験会場は下関のほか、前期日程では広島・大阪・福岡に、公立大学中期日程では広島・大阪・福岡・鹿児島・高松に設けており、全国各地からの受験生に対応します。

③ 大学入試センター試験において高得点科目を採用

幅広い科目を学習してきた方に配慮し、一般選抜において、大学入試センター試験の高得点科目を採用します。詳しい得点の換算方法については、P8, 10をご覧ください。

④ 全国推薦・地域推薦Bにおいて、2学科志望制を実施

平成25(2013)年度入学者選抜から、全国推薦及び地域推薦Bにおいて、希望があれば第2志望として他の1学科を選ぶことができるようになりました。

第1志望学科の判定が不合格の場合、再度、第2志望の学科において合否判定を行います。

なお、第2志望選択の有無は、第1志望学科の合否判定には影響しません。

平成26年度入試では、出願者の92.5%が第2志望を選択しました。

●アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

下関市立大学経済学部では、

1. 社会の多様な問題に関心を持ち、
2. 主体的に学ぼうとする意欲とチャレンジ精神に富み、
3. 論理的な読解力と数量的な分析力を備えた、
多彩な学生を求めています。



●各学科のアドミッション・ポリシー

(1) 経済学科

現代社会が当面する経済的・社会的諸問題の解決に向けて、積極的に関与していこうとする意欲を持ち、それら諸問題を学問的に学ぶための論理的思考力を備えた学生を求めています。

(2) 国際商学科

現代におけるグローバル・ビジネスと企業経営に興味があり、東アジアを中心に国際交流に積極的に挑戦しようとする意欲を持ち、基礎的な語学能力や情報処理能力などを備えた学生を求めています。

(3) 公共マネジメント学科

地域社会で積極的に活動する意欲を持ち、地域活性化等のコミュニティが抱える公共的課題に広く関心があり、それらを学問的に学ぶための論理的思考力を備えた学生を求めています。

< 沿革 >

- 昭和31(1956)年4月 下関商業短期大学設立
- 昭和37(1962)年4月 下関市立大学設立 経済学部経済学科
- 昭和58(1983)年4月 経済学部国際商学科増設
- 平成11(2000)年4月 大学院経済学研究科開学
- 平成23(2011)年4月 経済学部公共マネジメント学科増設

< 学年定員 >

450名

経済学科	195 名
国際商学科	195 名
公共マネジメント学科	60 名

入試ガイド Contents

平成27年度入試のポイント	P1
アドミッション・ポリシー	P2
入学者選抜について	P3~14
入学定員・募集人員・入試日程	P3
学費等について	P4
授業料減免制度・特待生制度・奨学金制度	
・学生教育災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険	P4
推薦入学（全国推薦・地域推薦）	P5~6
一般選抜（前期日程・公立大学中期日程）	P7~10
特別選抜（帰国子女・社会人）	P11~12
外国人留学生選抜	P13
第3年次編入学	P14
平成27年度入試カレンダー	P11~12
ワンポイント誌上講義「小論文にどう取り組むか？」	P13~14

入学者選抜について

平成27(2015)年度下関市立大学の入学者選抜は、推薦入学（全国推薦・地域推薦）、一般選抜（前期日程・公立大学中期日程）、特別選抜（帰国子女・社会人）・外国人留学生・及び第3年次編入学選抜により行います。

- (1) 推薦入学では、高等学校生活で学業やクラブ活動などをまじめに取り組んできた学生を求めており、個別学力試験（全国推薦・地域推薦B）は小論文を課し、論理性や表現力が備わった学生であるかどうかを確認します。
- (2) 全国推薦・地域推薦Bにおいて、2学科志望制を実施しています。出願時に、希望があれば第2志望として他の1学科を選ぶことができます。
- (3) 様々な個性をもつ学生に門戸を開くため、大学入試センター試験では得意科目の得点比重を高めるシステムを採用しています。（国際商学科は、国際化に対応した人材の育成をめざしているため、前期日程入試を受ける場合、センター試験に外国語を課しています。）
- (4) 前期日程入試は、論理性に富み、個性的で独創的な考えをもった学生を受け入れるため、個別学力試験は小論文を課しています。
- (5) 公立大学中期日程入試では、英語の基礎学力をもった学生を受け入れるため、個別学力試験で英語を課しています。

1 入学定員

学部	学科	入学定員	編入学定員
経済学部	経済学科	195名	8名
	国際商学科	195名	8名
	公共マネジメント学科	60名	4名
合計		450名	20名

(注)外国人留学生は定員外

2 募集人員

	推薦入学		一般選抜		特別選抜		外国人留学生	第3年次編入学
	全国推薦	地域推薦 A B	前期日程	公立大学 中期日程	帰国子女	社会人		
経済学科	27名	29名	52名	83名	2名	2名	若干名	8名
国際商学科	27名	29名	52名	83名	2名	2名	若干名	8名
公共マネジメント学科	7名	8名	16名	27名	1名	1名	若干名	4名

3 入試日程

区分	出願手続	センター試験	選抜期日・方法	合格発表	入学手続	
推薦入学	全国推薦 地域推薦 A B	11月4日(火) ～11月11日(火) 午後5時必着	課さない 11月22日(土)	小論文 午前10時～12時	12月2日(火) 午前10時	12月4日(木) ～12月10日(水) 午後5時必着
				面接 午後1時～		
				小論文 午前10時～12時		
一般選抜	前期日程	1月26日(月) ～2月4日(水) 消印有効	課す 2月25日(水)	小論文 午前10時～12時	3月6日(金) 午前10時	3月9日(月) ～3月15日(日) 午後5時必着
	公立大学 中期日程			課す 3月8日(日)	〈経済〉 〈公共マネジメント〉 外国語 午前10時～11時30分 〈国際商〉 外国語 午後2時～3時30分	3月21日(土) 午前10時
特別選抜	帰国子女	11月4日(火) ～11月11日(火) 午後5時必着	課さない 11月22日(土)	小論文 午前10時～12時	12月2日(火) 午前10時	12月4日(木) ～12月10日(水) 午後5時必着
	社会人			面接 午後0時30分～		
外国人留学生		11月27日(木) ～12月5日(金) 午後5時必着	課さない 12月20日(土)	小論文 午前10時～11時30分 面接 午後0時～	1月23日(金) 午前10時	3月9日(月) ～3月15日(日) 午後5時必着
第3年次編入学		10月23日(木) ～10月30日(木) 午後5時必着	課さない 11月22日(土)	小論文 午前10時～12時 面接 午後0時30分～	12月2日(火) 午前10時	12月4日(木) ～12月10日(水) 午後5時必着

4 学費等について

●入学手続き時の納入金（平成27年度予定）

		推薦入学・一般選抜・特別選抜	外国人留学生選抜	第3年次編入学
入 学 金		282,000円 (下関市内居住者141,000円)	282,000円	141,000円 (下関市内居住者 70,500円)
諸納金(入学時1回限り)		102,010円	50,010円	62,080円
諸 納 金 内 訳	学 会 費	9,000円 (入会金を含む)	9,000円 (入会金を含む)	5,000円 (入会金を含む)
	後 援 会 費	52,000円	—	26,000円
	学 友 会 費	17,000円 (入会金を含む)	17,000円 (入会金を含む)	9,000円 (入会金を含む)
	同 窓 会 費	20,000円	20,000円	20,000円
	学生教育研究災害障害保険	2,650円	2,650円	1,400円
	学研災付帯賠償責任保険	1,360円	1,360円	680円
合 計		384,010円 (下関市内居住者243,010円)	332,010円 (入学金には、半額減免制度があります)	203,080円 (下関市内居住者132,580円)

※ 入学時納入金については、改定されることがあります。

※ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料となります。

※ 「下関市内居住者」とは、本人又はその配偶者若しくは親が平成26(2014)年4月1日から引き続き下関市内に住所を有する者であり、その認定は住民票等によって行います。

●授業料 年額535,800円 (前期・後期で267,900円ずつ納入)

●初年度納入金 919,810円 (下関市内居住者は778,810円)

5 授業料減免制度

授業料の納入が困難な学生のうち、所定の条件を満たす学生は、授業料の減免を受けることができます。また、徴収猶予や分納も可能です。サブプライムローン破綻の影響を受けて平成21年から始まった入学金の納付猶予など、学生の事情に合わせた臨機応変の対応を致します。

6 特待生制度

学力が優秀な学生は、さらなる学修意欲の向上のため特待生に認定され、授業料の半額減免を特典として与えられます。

人数：2年生から4年生まで各学年につき、各学科2名以内。留学生は、留学生全員から2名以内。

7 奨学金制度

在籍者のうち約40%以上が日本学生支援機構(旧育英会)の奨学生であり、また出身県や市などの奨学金を受けている学生もいます。日本学生支援機構の奨学金貸与額は以下のとおりです。

●第一種奨学生(無利息)

自宅通学者・・・月額45,000円

自宅外通学者・・・月額51,000円

(双方とも月額30,000円を選択することもできます)

●第二種奨学生(利息付 ※在学中は無利息)

月額3・5・8・10・12万円のなかから選択

その他、地方自治体などによる奨学金制度もあります。例) 山口県ひとづくり財団：月額43,000円の貸与

8 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

入学すると、正課、学校行事、課外活動、通学中など、大学生活の中での事故に備えた保障救済制度である「学生教育研究災害傷害保険」と、他人に与えた被害に対する損害賠償金を補償する「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しています。

保険料は入学時に納入していますので、手続きの必要はありません。

9 下関市立大学学生会館

本学では、平成23年度より学生会館を新設しました。学費負担者の経済状況、通学の可否及び家族状況等を総合的に判断して入居者を選考しています。なお、在居期間は、原則1年です。

SCU学生会館	○間取り	1Kシャワートイレ付
	○家賃	19,000円～23,000円
光ヶ丘ハイツB棟	○間取り	1Kバストイレ付
	○家賃	19,000円

推薦入学

◆ 全国推薦

- 1 募集人員** <経済学科> 27名
<国際商学科> 27名
<公共マネジメント学科> 7名
- 2 選抜期日** 平成26(2014)年11月22日(土) 午前10時～12時
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 出願書類及び小論文による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年11月4日(火)～11月11日(火) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 高等学校等*でとりまとめ、本学入試班窓口に直接提出するか(午前9時～午後5時, 土・日曜日を除く),
あるいは書留速達により郵送のこと
*「高等学校等」とは高等学校(特別支援学校の高等部を含む), 中等教育学校, 高等専門学校, 文部科学大臣が高等学校の課程
と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設, 専修学校の高等課程を指します
- 7 高校推薦人員** 高等学校等1校につき、当該学科を第1志望として推薦できる人員は以下の通りです。
<経済学科・国際商学科> 各学科2名以内
<公共マネジメント学科> 1名
なお、分校及び定時制高等学校については、1校につき推薦できる人員は全体で1名です。
- 8 出願要件** 次の(1)(2)(3)に該当する者とします。(ただし、地域推薦の出願要件を満たす者を除く)
(1) 高等学校等を平成26(2014)年4月1日から平成27(2015)年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業
(修了)見込みの者(高等専門学校は第3学年修了見込みの者)
(2) 調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**の者、又はそれと同等の学力を持ち、学校長が特に推薦する者
(3) 合格した場合、入学を確約できる者
- 9 合格発表** 平成26(2014)年12月2日(火) 午前10時

全国推薦において

2学科志望制を実施

※詳細はP1をご覧ください

平成26年度 入学者選抜実施状況

(注) 推薦入学の合格者数には、第2志望学科合格者を含みます。

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
全 国 推 薦	経済	27	63	2.3	63	2.3	29	2.2	28[8]	121	128.9
	国際商	27	44	1.6	44	1.6	31	1.4	31[15]	120	128.2
	公共マネジメント	7	14	2.0	14	2.0	9	1.6	9[4]	125	133.1
	計	61	121	2.0	121	2.0	69	1.8	68[27]		
	前年計(前年比)	61(±0)	144(▼23)	2.4	144(▼23)	2.4	64(+5)	2.3	64(+4)	満点(200)	

◆ 地域推薦

【地域推薦A】と【地域推薦B】の2方式で選抜を行う。

- 1 募集人員** 【地域推薦A】【地域推薦B】併せて
<経済学科> 29名
<国際商学科> 29名
<公共マネジメント学科> 8名
- 2 選抜期日** 平成26(2014)年11月22日(土) 午前10時～12時(地域推薦Aは午後1時～)
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 【地域推薦A】調査書, 学校長の推薦書, 志願理由書, 面接による総合評価
【地域推薦B】出願書類及び小論文による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年11月4日(火)～11月11日(火) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 高等学校等でとりまとめ、本学入試班窓口に直接提出するか(午前9時～午後5時, 土・日曜日を除く),
あるいは書留速達により郵送のこと

地域推薦Bにおいて

2学科志望制を実施

※詳細はP1をご覧ください

7 対象校及び高校推薦人員

【地域推薦A】

下関市及び山陽小野田市に所在し本学が指定する高等学校等1校につき、推薦できる人員は以下の通りです。
 <本学が指定する学科> 各1名

【地域推薦B】

[下関市及び山陽小野田市に所在する高等学校等]

高等学校等1校につき、当該学科を第1志望として推薦できる人員は以下の通りです。

<経済学科・国際商学科> 各学科とも当該学校3年生の入学時定員の5%以内の人数

<公共マネジメント学科> 当該学校3年生の入学時定員の1.4%以内の人数

3学科とも、上記の数が2名に満たない場合であっても、2名を推薦できることとします。

ただし、【地域推薦A】で出願した場合はその数を控除します。

なお、分校及び定時制高等学校については、1校につき推薦できる人員は全体で1名です。

[下関市及び山陽小野田市以外に所在する高等学校等]

本人又は扶養者が平成26(2014)年4月1日から引き続き下関市内に住所を有する者(その認定は住民票によって行う)が在籍している学校1校につき、推薦できる人員は以下の通りです。

<経済学科・国際商学科> 各学科4名以内

<公共マネジメント学科> 2名以内

なお、分校及び定時制高等学校については、1校につき推薦できる人員は全体で1名です。

8 出願要件

【地域推薦A】次の(1)(2)(3)に該当する者とします。

(1) 下関市及び山陽小野田市に所在し本学が別に定める基準を満たす高等学校等を平成26(2014)年4月1日から平成27(2015)年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者

(2) 調査書の全体の評定平均値が4.2以上で、特に優秀*であるとして学校長が推薦する者

*「特に優秀」とは、学業においてきわめて優れている、本学の指定する資格(※)を取得している、生徒会・課外活動等で顕著な成果を上げた等、在学中に推薦に値する成果を上げたことをいいます。

(3) 合格した場合、入学を確約できる者

※ 下関市立大学の指定する資格

ア 実用英語技能検定試験(英検) 2級以上(2級, 準1級, 1級)	ク 漢語水平考試(HSK) 5級以上(5級, 6級) 又は会話試験中級口試以上(中級口試, 高級口試)
イ Test of English as a Foreign Language(TOEFLE), Internet Based Testing(iBT) 52点以上, Institutional Testing Program(ITP) 470点以上	ケ 中国語コミュニケーション能力検定(TECC) レベルD以上(スコア400以上)
ウ Test of English for International Communication(TOEIC), 公開テスト500点以上, I P500点以上	コ 「ハングル」能力検定試験 3級以上(3級, 準2級, 2級, 1級)
エ 国際連合公用語英語検定(国連英検) C級以上(C級, B級, A級, 特A級)	サ 韓国語能力試験 3級以上(3級, 4級, 5級, 6級)
オ IELTS 4.5以上	シ ドイツ語技能検定 3級以上(3級, 2級, 準1級, 1級)
カ GTEC for STUDENTS 560点以上	ス 実用フランス語技能検定 4級以上(4級, 3級, 準2級, 2級, 準1級, 1級)
キ 中国語検定試験(中検) 3級以上(3級, 2級, 準1級, 1級)	セ 基本情報技術者試験(FE), 合格
	ソ 応用情報技術者試験(AP), 合格
	タ 簿記検定(日本商工会議所), 2級以上(2級, 1級)

【地域推薦B】次の(1)(2)(3)に該当する者とします。

(1) 下関市及び山陽小野田市に所在する高等学校等を平成26(2014)年4月1日から平成27(2015)年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者。あるいは下関市及び山陽小野田市以外に所在する高等学校等を平成26(2014)年4月1日から平成27(2015)年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者のうち、本人又は扶養者が平成26(2014)年4月1日から引き続き下関市内に住所を有する者(その認定は住民票等によって行う)

(2) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、学校長が特に推薦する者

(3) 合格した場合、入学を確約できる者

9 合格発表

平成26(2014)年12月2日(火) 午前10時

平成26年度 入学者選抜実施状況

(注) 推薦入学の合格者数には、第2志望学科合格者を含みます。

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
地域推薦	A 経済	29	41	1.4	41	1.4	30	1.4	30[9]		
	B 経済									116	126.8
	A 国際商	29	36	1.2	36	1.2	29	1.2	29[13]		
	B 国際商									116	126.7
	B 公共マネジメント	8	9	1.1	9	1.1	8	1.1	8[7]		
	計	66	86	1.3	86	1.3	67	1.3	67[29]		
	前年計(前年比)	66(±0)	82(+4)	1.2	82(+4)	1.2	66(+1)	1.2	66(+1)	満点(200)	

一 般 選 抜

◆ 前期日程

- 1 募集人員** <経済学科> 52名
 <国際商学科> 52名
 <公共マネジメント学科> 16名
- 2 選抜期日** 平成27(2015)年2月25日(水) 午前10時~12時
- 3 試験場** 下関試験場(本学)・広島試験場・大阪試験場・福岡試験場
- 4 選抜方法** 平成27年度大学入試センター試験及び個別学力検査

前期日程において
学外試験場を多数設置
 ※詳細はP1をご覧ください

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		大学入試センター試験・個別学力検査の配点等	配点合計	
	教科・グループ	科目名			
経済学科／公共マネジメント学科	㊦	外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1	㊦ 200	500 (300+200)	
	㊧	国語 「国語」	㊧ 200		
	㊨	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から最大2	㊨ 200 (100+100) ※2科目合計する。	㊦㊧㊨のうち 得点の高い順に 2つ採用する。 そのうち得点 の高い方を300点 満点に換算する。
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理 政治・経済」		
		数学①	「数学I」「数学I・数学A」 から1		
		数学②	「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1		
		理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 から2		
理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から最大2				
個別学力検査	小論文		300	800 (500+300)	
国際商学科	【必須】	外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1	300 (200×1.5) ※300点満点に換算する。	500 (300+200)	
	㊦	国語 「国語」	㊦ 200		
	㊧	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から最大2	㊧ 200 (100+100) ※2科目合計する。	外国語必須。 ㊦㊧のうち 得点の高い方を 採用する。
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理 政治・経済」		
		数学①	「数学I」「数学I・数学A」 から1		
		数学②	「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1		
		理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 から2		
理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から最大2				
個別学力検査	小論文		300	800 (500+300)	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- ・大学入試センター試験の受験教科・科目については、必ず当該年度の大学入試センター試験受験案内を確認すること。
- ・外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含む。
- ・理科で①と②の両方を得点として利用する場合は、「同一名称を付した科目」どうしの組み合わせも可能。(例 「化学基礎」「生物基礎」+「生物」)

【大学入試センター試験・個別学力検査の配点等】欄

- ・外国語のうち英語については、以下の(1)(2)のうち高得点の方を外国語の得点とする。
 - (1)筆記試験とリスニングテストの合計点(250点満点)を200点満点に圧縮した得点
 - (2)筆記試験のみの得点
- ・「経済学科・公共マネジメント学科」の試験教科・科目は、200点満点科目(100点満点科目は2科目(注)合計する)の得点の高い順に2つ採用し、そのうち得点の高い方を300点満点に換算して計500点満点とし、個別学力検査(小論文300点満点)と合わせて800点満点とする。
- ・「国際商学科」の試験教科・科目は、外国語を必須として300点満点に換算し、次に高い200点満点科目(100点満点科目は2科目(注)合計する)を採用して計500点満点とし、個別学力検査(小論文300点満点)と合わせて800点満点とする。
- ・理科①「基礎を付した科目」は、2科目合計で100点満点の1科目相当とみなす。

【旧教育課程履修者に対する経過措置】

平成27年度大学入試センター試験における数学及び理科については、下表のとおり、旧教育課程履修者に対する経過措置科目が出題されます。

本学においても、経過措置科目を利用できます。

教科	経過措置科目	新指導要領に基づく出題科目
数学①	「旧数学Ⅰ」, 「旧数学Ⅰ・旧数学A」	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」
数学②	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	「数学Ⅱ・数学B」
理科②	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 旧教育課程履修者は、理科において、新・旧の異なる教育課程を組み合わせて選択解答することはできません。

センター試験得点換算例 (経済学科を受験するAさん)



英語 150点 (筆128+リ22)	国語 124点	数学Ⅰ 77点	現代社会 71点	生物基礎 +化学基礎 55点
--------------------------	------------	------------	-------------	----------------------

地理歴史・公民, 理科は
第1解答科目ではなく
高得点科目を採用

まず、英語(筆記及びリスニング250点満点)を200点満点に圧縮(0.8倍)すると120点(=150点×0.8)。筆記のみの得点128点の方が高いため、筆記のみの得点を採用します。

次に、数学Ⅰ・現代社会・(生物基礎+化学基礎)の3科目中2科目合計点を比較すると、最も高いのは数学Ⅰ+現代社会の148点。

国語の得点は124点であるため、国語は高得点2科目には採用されません。

最上位の得点を300点満点に換算(1.5倍)し合計すると、222点(=148点×1.5)+128点=350点となります。

5 出願期間 平成27(2015)年1月26日(月)~2月4日(水) (2月4日消印有効)

6 出願方法 書留速達による郵送 (窓口での出願書類の受付は行いません)

7 出願要件 次の(1)(2)に該当する者とする。

(1) 次のいずれかに該当する者及び平成27(2015)年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ウ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- オ 文部科学大臣の指定した者
- カ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格し(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)、平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達する者
- キ その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(2) 平成27年度大学入試センター試験を受験した者

8 合格発表 平成27(2015)年3月6日(金) 午前10時

平成26年度入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
前期日程	経済	52	186	3.6	176	3.4	79	2.2	59[14]	491	535.4
	国際商	52	192	3.7	175	3.4	85	2.1	67[40]	504	539.0
	公共福祉	16	331	20.7	307	19.2	38	8.1	23[10]	549	561.5
	計	120	709	5.9	658	5.5	202	3.3	149[64]		
	前年計(前年比)	1120(±0)	584(+125)	4.9	545(+113)	4.5	178(+24)	3.1	140(+9)	満点(800)	

◆ 公立大学中期日程

- 1 募集人員**
 - <経済学科> 83名
 - <国際商学科> 83名
 - <公共マネジメント学科> 27名
- 2 選抜期日** 平成27(2015)年3月8日(日) 午前10時～11時30分
(国際商学科は午後2時～3時30分)
- 3 試験場** 下関試験場(本学)・広島試験場・大阪試験場・福岡試験場
・鹿児島試験場・高松試験場
- 4 選抜方法** 平成27年度大学入試センター試験及び個別学力検査

公立大学日程において

学外試験場を多数設置

※詳細はP1をご覧ください

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		大学入試センター試験・個別学力検査の配点等	配点合計	
	教科・グループ	科目名			
経済学科／公共マネジメント学科	㊦	外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	から1	㊦ 200	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">600</div> (200+200+200) ㊦㊧㊨㊩㊪のうち得点の高い順に3つ採用する。
	㊧	国語 「国語」		㊧ 200	
	㊨	地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	から2	㊨ 200 (100+100)	
	㊩	公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理 政治・経済」		㊩ 200 (100+100)	
	㊪	数学① 「数学I」「数学I・数学A」	から1	㊪ 200 (100+100)	
	㊫	数学② 「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」	から1	㊫ 200 (100+100)	
	㊬	理科① 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	[①から2+②から1]	㊬ 200 (100+100)	
	理科② 「物理」「化学」「生物」「地学」	または [②から2]			
	個別学力検査	外国語<英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング>		200	800 (600+200)
国際商学科	㊦	外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	から1	㊦ 200	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">600</div> (200+200+200) ㊦㊧のうち1教科選択必須。 ㊦㊧㊨㊩㊪のうち選択必須で用いた教科以外で得点の高い順に2つ採用する。
	㊧	数学① 「数学I」「数学I・数学A」	から1	㊧ 200 (100+100)	
	㊨	数学② 「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」	から1	㊨ 200 (100+100)	
	㊩	国語 「国語」		㊩ 200	
	㊪	地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	から2	㊪ 200 (100+100)	
	㊫	公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理 政治・経済」		㊫ 200 (100+100)	
	㊬	理科① 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	[①から2+②から1]	㊬ 200 (100+100)	
	理科② 「物理」「化学」「生物」「地学」	または [②から2]			
	個別学力検査	外国語<英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング>		200	800 (600+200)

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- ・大学入試センター試験の受験教科・科目については、必ず当該年度の大学入試センター試験受験案内を確認すること。
- ・外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含む。
- ・理科で[①から2科目+②から1科目]を選択した場合は、「同一名称を付した科目」どうしの組み合わせも可能。(例 「化学基礎」「生物基礎」+「生物」)

【大学入試センター試験・個別学力検査の配点等】欄

- ・外国語のうち英語については、以下の(1)(2)のうち高得点の方を外国語の得点とする。
 (1)筆記試験とリスニングテストの合計点(250点満点)を200点満点に圧縮した得点
 (2)筆記試験のみの得点
- ・「経済学科・公共マネジメント学科」の試験教科・科目は、200点満点教科(100点満点科目は2科目(注)合計する)の得点の高い順に3つ採用して計600点満点とし、個別学力検査(外国語200点満点)と合わせて800点満点とする。
- ・「国際商学科」の試験教科・科目は、外国語または数学のいずれか1教科を選択必須として200点満点とし、選択必須で用いた教科以外で200点満点教科(100点満点科目は2科目(注)合計とする)の得点の高い順に2つ採用して計600点満点とし、個別学力検査(外国語200点満点)と合わせて800点満点とする。
- ・理科①「基礎を付した科目」は、2科目合計で100点満点の1科目相当とみなす。

【旧教育課程履修者に対する経過措置】

平成27年度大学入試センター試験における数学及び理科については、下表のとおり、旧教育課程履修者に対する経過措置科目が出題されます。

本学においても、経過措置科目を利用できます。

教科	経過措置科目	新指導要領に基づく出題科目
数学①	「旧数学Ⅰ」, 「旧数学Ⅰ・旧数学A」	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」
数学②	「旧数学Ⅱ・旧数学B」	「数学Ⅱ・数学B」
理科②	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 旧教育課程履修者は、理科において、新・旧の異なる教育課程を組み合わせて選択解答することはできません。

センター試験得点換算例 (国際商学科を受験するBさん)



英語 180点 (筆142+リス38)	数学ⅠA 75点	数学ⅡB 63点	国語 154点	日本史B 40点	倫理 88点
---------------------------	-------------	-------------	------------	-------------	-----------

まず、英語(筆記及びリスニング250点満点を200点満点に圧縮(0.8倍)すると144点(=180点×0.8)。筆記のみの得点142点より高いため、筆記+リスニングの得点を採用します。

次に、数学ⅠA+数学ⅡB(138点)と英語(144点)いずれかが選択必須となるため、高得点である英語を採用します。

国語(154点)、日本史B+倫理(128点)、数学ⅠA+数学ⅡB(138点)のうち高得点の2教科を採用するため、日本史B+倫理が最も低く採用されません。

得点を合計すると、144点+154点+138点=436点となります。

5 出願期間

平成27(2015)年1月26日(月)~2月4日(水) (2月4日消印有効)

6 出願方法

書留速達による郵送(窓口での出願書類の受付は行いません)

7 出願要件

次の(1)(2)に該当する者とします。

(1) 次のいずれかに該当する者及び平成27(2015)年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ア 高等学校等又は中等教育学校を卒業した者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ウ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- オ 文部科学大臣の指定した者
- カ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格し(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)、平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達する者
- キ その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(2) 平成27年度大学入試センター試験を受験した者

8 合格発表

平成27(2015)年3月21日(土) 午前10時

平成26年度入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数]内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
公立大学 中期日程	経済	83	1,184	14.3	487	5.9	317	1.5	108[28]	445	532.3
	国際商	83	1,089	13.1	465	5.6	296	1.6	114[60]	464	522.0
	公共7科以外	27	1,265	46.9	593	22.0	120	4.9	34[19]	524	553.4
	計	193	3,538	18.3	1,545	8.0	733	2.1	256[107]		
	前年計(前年比)	193(±0)	3,438(+100)	17.8	1,871(▼326)	9.7	705(+28)	2.7	196(+60)		満点(800)

特別選抜

◆ 帰国子女特別選抜

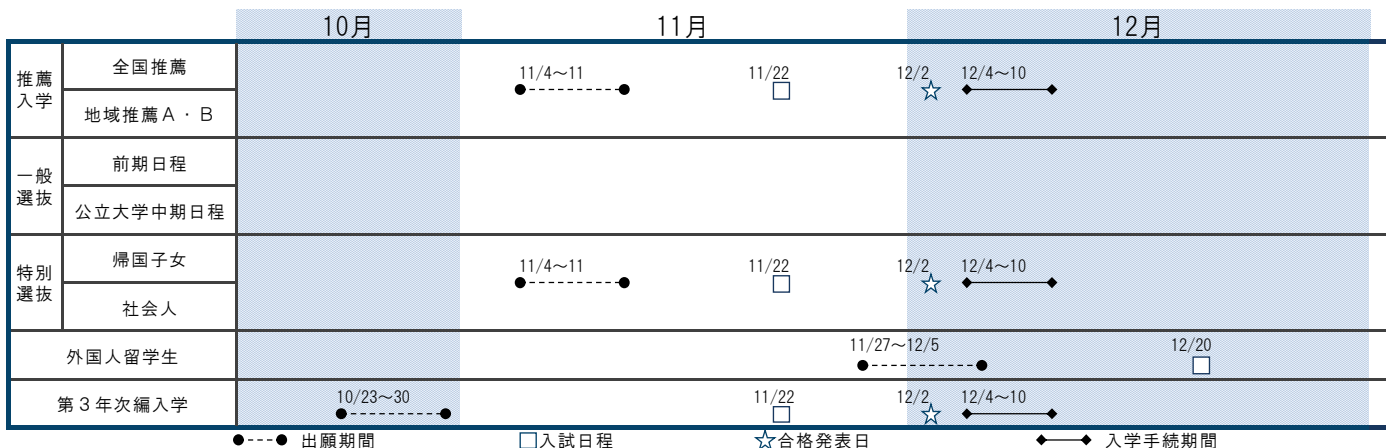
- 1 募集人員** <経済学科> 2名
 <国際商学科> 2名
 <公共マネジメント学科> 1名

- 2 選抜期日** 平成26(2014)年11月22日(土) 午前10時～12時, その後面接
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 出願書類, 小論文(日本語による)及び面接による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年11月4日(火)～11月11日(火) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 本学入試班窓口に提出するか(午前9時～午後5時, 土, 日曜日を除く), あるいは書留速達による郵送のこと
- 7 出願要件** 日本国籍を有する者若しくは日本国の永住許可を得ている者で, 次のいずれかに該当するものとします。
 (1)外国において, 学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を平成25(2013)年4月1日から平成27(2015)年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者。
 さらに, 外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けている者, 又は外国で受けた学校教育が9年をこえる者*
 * 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設に在籍した者については, その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
 (2)外国において, スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成25(2013)年又は平成26(2014)年に授与され, 平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達する者
 (3)ドイツ連邦共和国の各州において, 大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成25(2013)年又は平成26(2014)年に取得し, 平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達する者
 (4)その他本学において, 上記(1)～(3)と同等であると認められた者
- 8 合格発表** 平成26(2014)年12月2日(火) 午前10時

平成 26 年度 入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
帰国子女	経済	2	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	国際商	2	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	公共マネジメント	1	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	計	5	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	前年計(前年比)	5(±0)	0	-	0	-	0	-	0	-	満点 (300)

平成 27 年度入試カレンダー

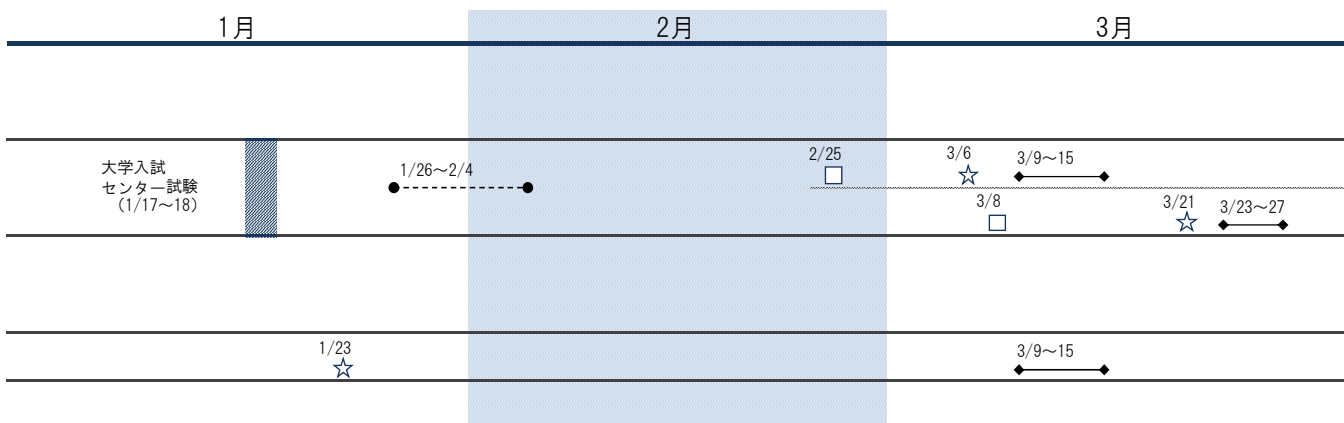


◆ 社会人特別選抜

- 1 募集人員** <経済学科> 2名
<国際商学科> 2名
<公共マネジメント学科> 1名
- 2 選抜期日** 平成26(2014)年11月22日(土) 午前10時～12時, その後面接
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 出願書類, 小論文及び面接による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年11月4日(火)～11月11日(火) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 本学入試班窓口へ提出するか (午前9時～午後5時, 土, 日曜日を除く), あるいは書留速達による郵送のこと
- 7 出願要件** 平成27(2015)年3月31日までに満23歳に達し, 社会人の経験を5年以上*有する者で, 次のいずれかに該当するものとします。
*定時制・夜間・通信制以外の学校の在学期間は, 社会人の経験期間に含まれません。
 - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を終了した者を含む)
 - (3) 外国において, 学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - (7) その他本学において, 相当の年齢に達し, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 8 合格発表** 平成26(2014)年12月2日(火) 午前10時

平成26年度 入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
社会人	経済	2	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	国際商	2	2	1.0	2	1.0	2	1.0	2[1]	-	-
	公共マネジメント	1	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	計	5	2	0.4	2	0.4	2	1.0	2[1]	満点 (300)	
	前年計(前年比)	5(±0)	1(+1)	0.2	1(+1)	0.2	0(+2)	-	0(+2)		



4月入学式

外国人留学生選抜

- 1 募集人員** <経済学科> 若干名
<国際商学科> 若干名
<公共マネジメント学科> 若干名
- 2 選抜期日** 平成26(2014)年12月20日(土) 午前10時~11時30分, その後面接
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 願書類, 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験「日本語」*の成績, 小論文(日本語による)及び面接による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年11月27日(木)~12月5日(金) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 本学入試班窓口提出するか(午前9時~午後5時, 土, 日曜日を除く), あるいは書留速達による郵送のこと
- 7 出願要件** 日本国籍を有しない者で, 次の(1)(2)に該当するものとします。
(1) 次のいずれかに該当する者
ア 外国において, 学校教育における12年の課程を修了した者及び平成27(2015)年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で, 平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達するもの
ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で, 平成27(2015)年3月31日までに満18歳に達するもの
エ その他本学において, 上記ア~ウと同等であると認めたる者
(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験「日本語」*を受験している者
*日本留学試験「日本語」については, 平成25・26(2013・2014)年度(両年度とも6月・11月に実施)の計4回のうち, いずれの受験も可。国外での実施については, 独立行政法人日本学生支援機構へ直接問い合わせること。
- 8 合格発表** 平成27(2015)年1月23日(金) 午前10時

平成26年度入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
外国人留学生 (定員外)	経済	若干名	20	-	19	-	7	2.7	6[1]	206	218.3
	国際商	若干名	31	-	31	-	12	2.6	5[1]	204	220.9
	公共マネジメント	若干名	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	計	若干名	51	-	50	-	19	2.6	11[2]		
	前年計(前年比)	若干名	45(+6)		44(+6)		22(▼3)	2.0	18(▼7)	満点(300)	

ワンポイント
誌上講義

小論文に どう取り組むか?

本学の個別学力検査の多くで小論文を課しています。この小論文、高校生には解くのが難しいという声をよく聞きます。しかし、小論文はみなさんが日頃からどれだけ真剣に物事を考えているかを問う、大学入試にふさわしい試験なのです。

(1) 2時間の知的体力をつけましょう

小論文の試験は2時間ですが、この間、じっと座って文章を読み、考え、文章を書くだけの知的集中力が必要です。まずは、毎日2時間机に向かって勉強する習慣をつけましょう。100mしか走れない人に、いきなりマラソン大会に出ようと言っても無理です。

(2) 読む力が基本

小論文というと書くことばかり気を取られますが、最も大事なものは読む力です。多くの文章に接し、課題文の著者が何を主張したのか、その根拠は何かを読みとる力をつけましょう。

(3) 読む力には、まとめが必要

長い文章を読んで、何が書いてあったのかを非常に短い言葉でまとめることが大切です。そのためには、重要なところに線を引く、欄外に重要な単語を書きだすなどの作業をした後、それらをうまくつないで、400字くらいにまとめる練習をしましょう。

これは著者との大事な対話です。人と話すときは相手の言うことを間違いなく聞きとらないと、「違う違う、そんなことは言っていない」と怒られますよね。そうならないようにしましょう。

第3年次編入学選抜

- 1 募集人員** <経済学科> 8名
<国際商学科> 8名
<公共マネジメント学科> 4名
- 2 選抜期日** 平成26(2014)年11月22日(土) 午前10時～12時, その後面接
- 3 試験場** 下関試験場(本学)
- 4 選抜方法** 出願書類, 小論文及び面接による総合評価
- 5 出願期間** 平成26(2014)年10月23日(木)～10月30日(木) (午後5時必着)
- 6 出願方法** 窓口 (午前9時～午後5時, 土・日曜日を除く), 又は書留速達による郵送
- 7 出願要件** 次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学士の学位を有する者及び平成27(2015)年3月までに学位を取得見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成27(2015)年3月までに卒業見込みの者
- (3) 修業年限4年以上の大学において, 2年以上在学する者で, 62単位以上を修得しているもの及び平成27(2015)年3月までに62単位以上を修得見込みのもの又はかつて2年以上在学したことのある者で, 大学において62単位以上を修得しているもの
- (4) 外国において, 学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者及び平成27(2015)年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)及び平成27(2015)年3月までに修了見込みの者
- (6) その他本学において, 上記(1)～(5)と同等であると認められた者

※上記(3)「平成27(2015)年3月までに62単位以上修得見込みの者」が, 編入学選抜に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は, 合格を取り消します。

- 8 合格発表** 平成26(2014)年12月2日(火) 午前10時

平成26年度入学者選抜実施状況

試験区分	学科	募集人員 a (人)	志願状況		受験状況		合格状況(注)		入学者数 []内は 女性内数 (人)	得点状況	
			志願者数 b (人)	倍率 b/a (倍)	受験者数 c (人)	倍率 c/a (倍)	合格者数 d (人)	倍率 c/d (倍)		合格者 最低点 (点)	合格者 平均点 (点)
編入学	経済	8	25	3.1	20	2.5	9	2.2	9[2]	177	192.7
	国際商	8	23	2.9	21	2.6	13	1.6	10[3]	176	187.0
	公共マネジメント	4	7	1.8	6	1.5	4	1.5	3[1]	169	177.5
	計	20	55	2.8	47	2.4	26	1.8	22[5]	満点(300)	
	前年計(前年比)	20(±0)	61(▼6)	3.1	52(▼5)	2.6	22(+4)	2.4	17(+5)		

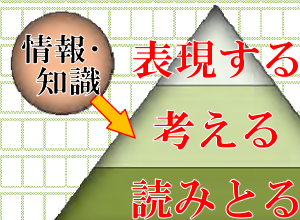
(4) 文章は短めに、それを接続詞でうまくつなげましょう

さて、いよいよ書く段階になったら、①何が言いたいのか、②それが言えるための根拠は何かを、箇条書きで整理しましょう。あとは、それを短い文章にしてつなげるのです。その時、接続詞をうまく使いましょう。長い文章はだめです。たとえば、「今日は晴れだけれども、明日は雨だろうし、明後日はくもりになるかもしれない」というのは読みにくいですよね。せいぜい文章は、二つまで。「今日は晴れたが、明日は雨だ。しかし、明後日には天気回復するようだ」というのがわかりやすいですね。

(5) 書き終わったら、誰かにみてもらいましょう

小論文は書いて終わりではありません。自分では良く書けたつもりでも、他人がみたら「???」ということもあります。学校の先生やお父さんお母さんなど、必ず誰かに添削してもらいましょうね。

以上のポイントをしっかり守って、小論文の対策に取り組みましょう。



平成 27(2015)年度 学生募集要項の請求方法

募集内容の詳細は、募集要項(7月下旬配布開始予定)で必ず確認してください。募集要項の取り寄せ方法は以下のとおりです。

1 来学される場合 (入試班窓口で配付)


〔請求及び問い合わせ先〕

下関市立大学 学務グループ入試班 (〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号)

TEL&FAX (083) 254-8611 (入試班直通)


E-mail:nyugaku@shimonoseki-cu.ac.jp (問い合わせのみ)


2 大学ホームページから請求される場合

大学のホームページから  テレメールを利用して資料請求ができます。

詳しくは本学のホームページ (<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>) の「入試情報」をご覧ください。

3 テレメールで請求される場合 (インターネット・自動音声応答電話)

①下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	http://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の録音時はゆっくり・はっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。		

②希望する資料請求番号(6桁)を入力し、あとはガイダンスに従って進んでください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含)※予定	発送開始日※予定
大学案内	566452	215円	6月上旬頃
推薦(全国推薦・地域推薦)・一般選抜(前期日程・公立大学中期日程) 学生募集要項	586452	215円	7月下旬頃
特別選抜(帰国子女・社会人)・外国人留学生選抜・第3年次編入学学生募集要項	587092	215円	7月下旬頃
大学案内 + 推薦・一般選抜学生募集要項	546552	300円	7月下旬頃
大学案内 + 特別選抜・外国人留学生選抜・第3年次編入学学生募集要項	587212	300円	7月下旬頃

・請求から2~3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

・料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円)。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。


・資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※お問い合わせ先：テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30~18:00)

4 郵便局で請求される場合 (11月より受付開始)

11月より郵便局(旧・普通郵便局に限る)に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校 募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、料金と払込手数料(130円)を添えて、ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口でお申し込みください。受付から1週間程で資料が届きます(発送開始日以前のお申し込みは発送開始日の翌日から3日程で届きます)。

5 大学情報センター「モバっちょ」で請求される場合 (大学案内、推薦・一般選抜学生募集要項のみ対象)

インターネット (クレジットカード決済のみ)	http://djc-mb.jp/shimonoseki-cu3/	QRコード	
※資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒に支払っていただけますので、郵便局等に払い込みに行く必要がありません。 ※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合がございます。 ※お問い合わせ先：モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005 (平日10:00~17:00)			